

「浄化槽ビジョン」 浄化槽行政の方向性 中環審専門委



平成 19 年 1 月 15 日開催の中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会浄化槽専門委員会で今後の浄化槽行政の在り方を示す「浄化槽ビジョン」の取りまとめがなされました。

この「浄化槽ビジョン」は、環境行政全般の進展や社会状況の変化を踏まえて検討されたもので、今後の浄化槽の普及の推進を図るため、既存単独処理浄化槽の合併化も含めた面的整備、地域住民の環境意識の高揚、持続的発展が可能な社会の構築のための浄化槽システムの構築等が提案されています。

「浄化槽ビジョン」の概要

1. 浄化槽の普及の推進

1) 浄化槽整備区域の積極的設定

アー既存単独処理浄化槽の合併化も含めた面的整備

・単独処理浄化槽撤去の財政支援の拡充 等

イー地域住民の環境意識の高揚

・住民等に対する浄化槽関連情報の発信

2. 持続的発展が可能な社会の構築のための浄化槽システムの構築

1) 循環型社会・脱温暖化社会の形成

・浄化槽汚泥のバイオマスリサイクルシステムへの組み入れ等の有効活用体制の整備

・濃縮車・脱水車等の効率的な汚泥回収システムの整備 等

2) 健全な水循環の構築

・小規模事業場への浄化槽技術活用の周知と対象の拡充

・窒素・燐対応型浄化槽の普及推進、効率的な維持管理の検討

・浄化槽整備による改善効果の把握方法の検討 等

3. 研究開発 等

4. 海外展開

当社では、BOD をはじめとする浄化槽排水の分析において、長年の実績と経験があります。お気軽に分析についてお問い合わせ下さい。

資料 2007 年 1 月 15 日付 EIC ネット

環境省 報道発表資料

水質分析箇所 長谷川知草